

# 日野振興局 新人職員

今年度、日野振興局に農林担当職員として3名の元気な新人が配属されました。現場の声を聞き現場第一主義で業務に当たることができる職員を育成するため、この3名が農林家の実作業を経験させていただき研修に参加しましたので、それぞれの研修概要を報告します。

農林業振興課 主事 岩竹 美香

（研修先）

鳥取市福部町らっきょう園場、福部らっきょう加工センター

（研修内容）

8月19日に「らっきょう産地振興ボランティア体験ツアー」に参加し、植付体験と加工センターの見学を通して本県の特産品であるらっきょうについて学びました。

（学んだこと・感想）

砂丘らっきょうは砂地という栄養が少ない環境で育つことから皮が薄くなりますが、それがシャキシャキとした歯ごたえにも繋がり、大きな魅力になっています。

今回体験した植付作業は機械化が難しく、真夏は砂地の表面温度が60℃にもなる暑さの中、福部町では現在もほぼ手作業で行われています。そんな過酷な労働環境の中で少しでも快適に作業するために使われている農作業用膝当て「らくだに」を着用すると、地面の温度がほんのり温かく感じる程度まで緩和されて驚きました。多くの農家が中腰で作業されているようですが、作業姿勢の選択が増えるのはとても良いと思いました。

今回の研修で体験した植付作業をはじめ、砂丘らっきょう生産には知られざる苦労があることを知ることができました。らっきょう農家、JA、農業改良普及所の皆さんから様々な視点でのお話を聞くことができ、大変勉強になりました。らっきょうは5〜6月ごろ収穫を迎えます。簡単に漬けるだけの「洗いらっきょう」もあるとのこと、来年は美味しく食べることに挑戦してみたいと思います。

快晴かつ温度も低く作業しやすい環境だったそうです。（それでも十分に過酷でしたが…）



↑らくだに(赤色)着用 敵を崩さないのがポイント

同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2018 FAX:0859-72-2125

農林業振興課 農林技師 中村 祥太郎

（研修先）

大山町 林家 清水 泰さん

（研修内容）

9月7日〜9日の3日間にわたり、高級材として知られる大山アカマツのほか、スギ、ヒノキなど、約90ha(東京ドーム約20個分の森林を管理する専門林家での実作業を通じ、林業経営の難しさを学びました。

（学んだこと・感想）

台風11号の影響でアカマツの倒木があり、チェーンソーとグラブ（木を持ち上げる機械）を用いた玉切り処理や、そのアカマツ材を木材市場へ運搬するという一連の流れを体験させていただきました。倒木処理の作業中にグラブのバッテリーが上がった時は、山奥での作業の大変さを実感しました。また、清水さんから、後継者がいないことや、農業、漁業と違い1年で結果が出ないこと、木を植えてから30〜40年経つようやく収益が出るという点など、林業を長く続けていく上での苦労話もお聞きしました。個人経営で広大な森林を管理していくことは、本当に大変であると感じました。

私は林道担当として林道設計や監督業務に取り組んでいます。今回、林道を利用して木材を市場に運搬する体験を通じ、林道整備の重要性について身をもって実感できました。これからも山で伐採した木を効率的に運び出し、災害にも強い林道を作るために技術を学んでいきたいです。



台風の影響で折れたマツの木



グラブを使った倒木処理



玉切りした倒木を木材市場に搬入

同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2022 FAX:0859-72-2125

日野農業改良普及所 改良普及員 吹野 颯音

（研修先）

株式会社エイト（日南町阿尾線1224・1）

（研修内容）

9月5日〜7日、15日〜16日の5日間にわたり、日野郡特産野菜のトマトと水稲の複合経営をしておられる法人で、実作業を経験し農家の生活を学ぶことを目的に研修させていただきました。

（学んだこと・感想）

早朝5時40分から作業終了の17時まで、トマトの収穫、玉釣り(トマトの重さで枝が折れないように支柱に結び付ける作業)等を中心に行い、農家の一日や農作業の大変さを経験することができました。

この時期のメインとなる玉釣りや収穫では、従業員の方がほぼ立ち止まることなくテキパキと作業をされており、熟練の技を近くで見ることができました。従業員の方に話を聞いた際に「慣れれば早くなるよ」とおっしゃっていて、毎日の作業の積み重ねによってこの作業スピードになっているのだと感じました。

非農家で野菜栽培経験に乏しい私ですが、これからの普及活動や現場で学んだことを一つ一つ蓄積し、早く一人前の普及員になれるよう努力していきます。

トマトの作業をするのは今回が初めてで、とても緊張していましたが、皆様優しく丁寧に教えてくださったおかげで、トマト栽培の一端を学ぶことができました。株式会社エイトの皆様ありがとうございました。



【玉釣り作業の様子】 手袋をつけての作業なので難しい！



【玉釣り後のトマト】 枝が折れてしまうと、玉が小さくなったり、変形してしまうため、重要な作業です。



【収穫されたトマト】 従業員の方の作業スピードに驚きました！

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2025 FAX:0859-72-2090

## 令和4年度 鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰

— 日野郡内で受賞された方をご紹介します —

鳥取県農林水産業の発展を図るため、優れた技術及び経営の農林水産業者を知事表彰するものです。令和4年度は、6部門において日野郡の個人1名を含む37経営体・組織が表彰され、10月19日に鳥取市の鳥取市民会館大ホールで表彰式典が行われました。

日野郡内では日南町の坪倉弘和さんが、就農直後から安定して高い営農実績を維持しつつ、地域農業の課題解決に向けて積極的に将来像を話し合うなど、幅広い視点を持って意欲的に農業に取り組まれている点を評価され、「未来を担う青年農林水産業者」部門で受賞されました。今後の益々のご活躍を期待しています。

受賞者コメント

平成28年にUターンしたのち、日南町の農業研修制度を活用して1年間のトマト栽培を研修し、平成29年4月に独立就農しました。農業研修生として学んだ経験を生かして、就農した年から安定した単収と販売額を維持することができました。

また、ハウス内の整理整頓やコスト計算にも気を付けながら、農業技術だけでなく、農業全体を取り巻く社会情勢についても意識するようにしています。

この他にも、将来を担う若手の一人として地域の将来像を描きながら、人・農地プランや農地の基盤整備に向けた話し合いに積極的に参画しています。



坪倉 弘和さん (トマト:日南町阿尾線)

### 蜜蜂を飼育される方へのお知らせ

蜜蜂を飼育される方(趣味の養蜂を含む。)は、養蜂振興法の規定により毎年1月31日までにその年の「蜜蜂飼育届(1月1日〜12月31日の飼育計画)」を県に提出する必要があります。

日野郡にお住まいの方は日野振興センターに提出してください。手続き等についてご不明な点がありましたら、下記の問合せ先にご連絡ください。



同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2026 FAX:0859-72-2011